ネーム部門シナリオ①：現代バトル

【登場人物】

**鳴海 陽向（なるみ ひなた）（17）**：喧嘩慣れした高校生。孤独を好むが、理不尽な暴力は見過ごせない。

**三堂 剛（みどう つよし）（18）**：不良グループのリーダー。陽向に因縁を持つ。

**三堂の手下たち（４名）**：三堂の仲間。陽向を囲む。

**化け物**：人間を襲う謎の怪物。 見た目はトカゲのような感じだが、目は黒く、手が４本あり、身長は５ｍほどある。

**？？？**：陽向の心の中に呼びかける謎の存在。外見はフードをかぶっているが、顔は見えない。

【シナリオ表記説明】

●●「」⇒声に出すセリフ

●●Ｍ「」⇒モノローグ

【シナリオ】

【シーン1：裏路地の喧嘩】

〈場面〉

場所・時間：商店街の裏路地・１５時。晴。  
人通りの少ない狭い路地。不良グループが陽向を囲む。

三堂「よぉ、陽向。相変わらず一人でカッコつけてんのか？」

陽向、ポケットに手を突っ込み、ため息をつく  
陽向「カッコつけてねーよ。ただ、弱い奴らが群れるのが嫌なだけだ」

三堂「相変わらずムカつく奴だぜ」

手下の一人が拳を振りかぶる。陽向は軽く身を引き、陽向の拳が閃く！

ドンッ！！

手下Aが吹っ飛び、壁に叩きつけられる

手下B「は……？ 速すぎ……」

陽向「弱いなら、喧嘩なんてふっかけんなよ」

三堂「おい、やっちまえ！」

不良たちが一斉に襲い掛かる！

* 裏拳一閃！ → 手下Bが吹き飛ぶ
* 膝蹴り！ → 手下Cが悶絶
* カウンターの拳！ → 手下Dが沈む

最後に残る三堂。怒りに震え、拳を握る。陽向、三堂の様子を見て、鼻で笑う。

三堂「てめぇ……俺をナメるな！」

三堂が陽向に殴りかかろうとしたその時…

【シーン2：化け物の襲撃】

〈異変〉

ズゥゥゥン……！

地面が揺れる。巨大な化け物が現れる。

手下たち「……な、なんだあれ……？」

陽向「……冗談だろ」

化け物が咆哮し、商店街の店を殴り、崩壊させる。

逃げ惑う住民。

化け物は、不良たちを発見し、襲いかかる。

手下C「う、うわあああ！」（逃げ出す）  
手下D「逃げろ！」（転ぶ）

三堂「クソッ…流石に…」（後ずさる）

陽向は化け物を見つめ、ゆっくりと拳を握る。

陽向M「逃げるのは簡単だ。でも…」

陽向、息を整え、一歩前へ出る。

陽向M「誰かがやらなきゃならねぇんだろ」

【シーン3：陽向の覚醒】

化け物が巨大な腕を振り上げ、陽向に向かって振り下ろす。

陽向「チッ……！」

寸前でかわすが、衝撃波で吹き飛ばされる陽向。

陽向が地面に転がり、口元の血を拭う。

陽向M「やっぱ、こんな化け物に勝てるわけ…」

？？？（低い声）「——まだ終わっていない」

陽向、声の主を探そうと周りを見渡すが、誰もいない。

陽向「……誰だ？」

？？？「お前はまだ知らない。己の本当の力を……」

陽向の右拳が、じわりと赤く発光し、右拳に少し炎がまとわりつく。

陽向「なんだ、これは…」

化け物が再び陽向に襲い掛かる。

陽向「……試してみるか」

陽向、拳を握り締め、全身の力を込めると、拳が紅蓮の炎のように燃え上がる！

陽向「うおおおおおっ！！」

化け物の顔面に向かって、渾身の一撃を叩き込む！

ドゴォォォッ！！！

炎を帯びた拳が化け物に命中し、爆発的な衝撃が走る！

化け物「ギャアアアア！！」

化け物は断末魔の叫びを上げ、跡形もなく消滅する。

静寂。陽向が立ち尽くしている。右拳の炎は消え、いつもの手に戻っている。

陽向M「この力は一体…」

【シーン4：始まりの予感】

夕方。三堂たちは呆然と立ち尽くしている。

三堂「今の、何だよ…」

手下A「あ、あいつ、化け物倒したぞ…」

陽向M「俺の中に眠っていた力なのか…？」

商店街近くのマンションの屋上で、一人の影が微笑む。

？？？「ついに覚醒したか……面白くなってきたな」